

3 生涯学習

～学ぶ意欲を持つ市民が学習することのできる機会や場が得られているまち

<基本計画の目標>

地域における人と人との出会い、ふれあい、学び合いを推進し、地域団体や市民団体の活動を支援する中で、市民同士のつながりと支え合いを高めるための機会を設けるとともに連帯感やコミュニティ意識の醸成を図ります。

学習機会の提供にあたっては、個人の需要と社会の要請のバランスを保つとともに、生きがい・教養・人とのつながりなどの追求と職業的知識・技術の習得の調和を考慮します。

市民が主体的に学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進め、いつでも、どこでも、だれもが気軽に学習できる学習環境を整備・充実します。

多様で幅広い学習情報の収集・提供や学習相談体制の整備、生涯学習指導者などの人材育成を行い、若者を含めあらゆる層の市民の生涯学習を総合的に支援していきます。

学習した成果が就業や社会参加など、さまざまな場面で発揮できるよう民間教育事業者や関係機関と連携を図りながら、職業能力の向上につながる学習機会の提供に努めます。

あらゆる場面において市民参画ができる機会・場の拡充と市民、行政、民間教育事業者や関係機関が一体となった効果的・効果的な推進体制を整備します。

<目標指標>

| 目標指標 | 目標指標の定義 | 当初値 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22年度 目標値 | H27年度 目標値 |
|-----------------|------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 生涯学習センター利用者数(+) | 中央、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域にある生涯学習センターの、年間利用者数の合計 | 544,960 人 | 537,622 人 | 538,524 人 | 577,722 人 | 619,084 人 | 551,000 人 | 556,000 人 |
| 図書館資料の年間貸出数(+) | 中央図書館及び地域館の図書館資料の年間貸出数の合計 | 1,241,035 冊 | 1,234,275 冊 | 1,240,927 冊 | 1,308,086 冊 | 1,523,736 冊 | 1,303,000 冊 | 1,363,000 冊 |
| 図書館の利用度(+) | ここ1年間で図書館を利用した市民の割合 | 42.8 % | 39.5 % | 42.7 % | 43.0 % | 40.8 % | 45 % | 48 % |
| 市民満足度 | サブタイトルにあるまちの実現状況について、市民が実感している割合 | 54.8 % | 47.7 % | 49.7 % | 53.6 % | 54.6 % | 55 % | 56 % |

<これまでの取組の評価～進捗と課題>

評価: ◎80%以上の成果、○50%以上の成果、△30%以上の成果、×30%以下の成果

・生涯学習部

<昨年度からの課題>

- ・市民ボランティア、大学、高等教育機関と連携し、多様な生涯学習ニーズに対応していくことがよい。
- ・現役世代のニーズ、参加を掘り起こす工夫がほしい。
- ・生涯学習機能としての図書館だけでなく、コミュニティ機能の一つとしての機能にも着目して、そのあり方を維持する必要がある。

<進捗>

- ・大学公開講座など高等教育機関等との連携事業が定着し好評を得ている。また、市民ボランティア団体である鎌倉市生涯学習推進員会に事業委託し、子育て支援、食育、団塊世代支援など様々な世代を対象とした講座を開催した。
- ・NPO法人「図書館とともだち・鎌倉」（ととも）に事業を委託して実施することにより、市民と協働した事業展開を行うことができた。

<課題>

- ・生涯学習指導者、生涯学習ボランティアと連携しながら、様々な世代のニーズに合わせた講座等を企画するとともに、今後は地域ごとに世代間の交流が持てる講座等の企画を検討する。
- ・3年間の「ととも」との協働事業が終了した後の地域コミュニティ活動をどのように展開していくのか検討する必要がある。

担当部の評価



<今後の展開(取組方針)>

・生涯学習部

・生涯学習センターでは、生涯学習指導者や生涯学習ボランティアの育成と活用に重点を置き各種市民講座等の充実を図る。

・図書館事業については、より市民のニーズに即した図書資料等の充実に努める。また、子ども読書活動推進計画に沿った事業展開を行うとともに、図書館開館百周年を迎え記念事業を実施していく。

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・図書館は書店では入手しにくい本や高額な本を多く蔵書している。市内全館の蔵書検索ができ、予約・受け取りが迅速、簡単なシステムを導入している。地域外の図書館を含めて図書の貸出が迅速であり、利用者にとって有難い。
- ・生涯学習センターの利用者数や図書館の貸出し数が増加している点は、この部局の努力の結果と考えられる。また、NPOや大学との協働での施策推進は市民の参加意識を向上させるうえでも有益と考える。
- ・「生涯学習ガイドブック」や「鎌倉萌」は、生涯学習に関する情報誌として良く纏まっている。各目標指標の実績値は目標値を達成又はそれに近い値に達しており、関係者の努力が伺える。



課題・提言

- ・市全体の文化度向上のため、単なるカルチャースクールとにならないようにしていく努力も必要。趣味学習のみでなく、地域への貢献が生まれることが望まれる。
- ・公共施設の使用状況を全市的に把握し、それを施策に展開することにより市民が求めている施設の利用状況がわかり、利用状況が多いものは増加、ないものは縮減を図るべきである。
- ・生涯学習センターは推進委員会との連携のもと、様々な活動を行っているが、開催講座については委員意向によるため、参加希望者(市民)から広く意見を募っていただきたい。また、実施されている講座のほとんどが平日の日中に行われているため、職業従事者が参加出来ない事から、同様の講座を週末または夜間に開催することも検討いただきたい。